

9 月 15 日：株式市場は直近の下落から回復

木曜日の株式市場は安値を狙った買いの動きによって前日より上昇して終わった。

ホーチミン市場では+0.39%の 1,245.66 ポイントで、直近の 2 日続落から戻した。しかしマーケットの勢いは依然乏しく下落銘柄が多数を占め、9.8 兆ドン（4 億 1,410 万ドル）相当の 3 億 8,600 万株の取引と前日から-27%出来高は下落するなど、流動性も低かった。

上位 30 銘柄で構成される VN30 指数も +0.15%の 1,262.82 ポイントであり、13 銘柄が上昇し、同じく 13 銘柄が下落を記録した。

不動産、銀行セクターの大型株が指数の反発に大きく寄与し、ベカメックス（BCM）は 1 日の値幅上限である +7%となった。ベトコムバンク（VCB）、ノバランド（NVL）、エクシムバンク（EIB）の上昇もトレンドの形成を支えた。

ビンホームズ（VHM）、ベトナムラバーグループ（GVR）、ビンググループ（VIC）、ビナミルク（VNM）も同様に好調であった。

一方、引き続き売り圧力がマーケットの上昇を抑えており、BIDV（BID）が 2%以上下落し、それにペトロベトナムガス（GAS）、ミリタリーバンク（MBB）、テコムバンク（TCB）が続いて下落した。

ハノイ市場の HNX 指数も 3 日続落から反発し、1.6 兆ドン相当の 5,220 万株が取り引きされた。

外国人投資家はホーチミン市場で 3,329.3 億ドン売り越した一方でハノイ市場では 85.2 億ドン買い越した。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利はJSIに帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。